



このコーナーでは、  
県内の著名人がおすすめする児童書の魅力を、  
直筆の推薦文とともに紹介します。

## ちびすけ ふろやんとまっくろスズメ

スタジアム周辺は以前、鉄道のまちとしてたくさんの方々が“誇り”をもって働き鉄道で日本を支えていた地でした。

そんな熱い思いが現在、サッカーを愛する人々へと繋がって私達サガン鳥栖はいつもパワーをいただいています。この絵本を通して鳥栖の誇るべき貴重な歴史を楽しく読み聞かせながら、次の世代へと伝えていきたい一冊です。



『ちびすけふろやんとまっくろスズメ』  
作/まつえだかよこ  
絵/おぎはらのりこ  
current

鳥栖駅の東がわに展示されているまっくろな268号きかん車「ふろやん」がおしごとをがんばっていたころのお話です。ちびすけだけど力もちのふろやんは、まっくろなスズメ「くろちゅん」と大の仲よし。へびにおそわれたくろちゅんを助けようと、ふろやんが大かつやくします。かつての「鉄道のまち鳥栖」を思い出させる、夢と希望となつかしさが詰まった一冊です。

## きみにありがとうのおくりもの



私が生きていく上で大切にしていることのひとつが“感謝”することです。コロナ禍によって、人との間わりを極力なくし変わらない日々の中でも、相手を思いやり物事に対して感謝することを忘れないでほしい。“ありがとう”どんな時代とんでも大事にしたい言葉です。

『きみにありがとうのおくりもの』  
作・絵/宮野聡子  
教育画劇

元気なこりすとのおんぴりやのくまくんは、ふたりでなかよく暮らしています。きれいな部屋に、おひさまのにおいのシーツ、庭で育てている花やおいしい野菜、それから花かんむりや、手をあたたためてくれたこと…。相手にしてもらっていることにあらためて気づき、よるごとと感謝の気持ちを伝えあいます。一日の終わりに、そばにいてくれる誰かと読みたい絵本。

## だるまさん シリズ



我が家の子ども達全員に最初に読み聞かせた絵本です。特に「が」シリーズの中の「どてっ」が3人とも大好きで、マネして倒れる仕草が三者三様たまるなく可愛かったです。今でも読んでほ笑いが起き、豊田家にはなくてはならない絵本です。

『だるまさん』シリーズ  
作/かがくいひろし  
ブロンズ新社

「だ・る・ま・さ・ん・が…」のリズムとユーモアあふれる絵が人気のシリーズ『だるまさんが』『だるまさんの』『だるまさん』。0歳の赤ちゃんから大人まで、ページをめくるたびにわらいがはじけるゆかいな絵本です。『だるまさんの』では、だるまさんがめがねをかけたり、ぼうしをかぶったりと変幻自在。『だるまさんと』では、だるまさんのお友だちも登場します。

## 豊田選手ってどんな人?

サッカーJ1・サガン鳥栖のエースストライカー。2010年から鳥栖でプレーし、11年にはJ2で23得点を挙げて得点王になり、J1昇格に貢献しました。16年までJ1で5年連続10得点以上をマーク。J1通算100得点にあと2ゴールまで迫り(11月24日時点)、体を張ったプレーで若いチームをリードしています。3人の子どもの父親として、絵本の読み聞かせなどを通して親子の絆を深めています。



佐賀県立図書館「ころざしの森」では、このコーナーで紹介した児童書と推薦文を展示しています!